

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 浅川市民センター

日時 令和6年(2024年)12月21日(土)
14時30分～16時00分

発言者 8名 参加者 18名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
1	<p>自宅の裏手がハザードマップで危険エリアに指定されている。八王子市としては今後どのような対策を進めるのか伺いたい。災害時に避難誘導したり、避難場所を確保するようなボランティアをしたいが、今後そのような組織ができるのか、また、防災に対してどのような考えを持っているのか聞きたい。</p>	<p>道路などで崖になっているところについては、土砂崩落を未然に防ぐ対策を講じている。一方で、私有財産について、平時に行政が強制的に何かができる状況ではないということが前提にある。</p> <p>ハザードマップで土砂災害の危険が見込まれるような区域については、新しく家を建てたり、リフォームなど一定の建築をする際、建築確認が必要になる場面においては、行政から指導することがある。</p> <p>ボランティアに関しては、社会福祉協議会でボランティアセンターを運営しており、ボランティアリーダーの育成も行っている。</p> <p>災害発生時に1人で避難できない高齢者の安否確認は、民生児童委員が行ってくれている。</p> <p>このような志を持っている方への対応については検討させていただく。</p>
2	<p>マスクを着用したくても着用できない人が存在するが、医療機関においてマスクの非着用者に対する利用拒否が行われている。マスク着用困難者の人権を救済していただきたい。</p>	<p>マスクに関しては、強制してはいけないということが前提になっている。</p> <p>国は、マスクの着用を一律に求めるのではなく、個人の選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場合にはマスク着用を推奨している。</p> <p>また、マスクの着用が困難な状態にある方への理解についての周知を行っており、行政に限らず、関係者がしっかり読み込まなければならない部分だと思う。</p> <p>私たちが何かを求める際には、こういったこともしっかり配慮して、お願いをしなければならないということを、今日改めて気づかせていただいた。</p>
3	<p>縄文文化の観光の目玉化について、プロジェクトチームなどを立ち上げて活動してもらいたい。小比企町の辺りに大きなイチゴハウスを作り、縄文文化の活動拠点となるものを併設してもらいたい。</p>	<p>八王子市内の縄文時代の出土品については、八王子駅の近くの桑都日本遺産センター八王子博物館と、恩方市民センターで、保存、展示している。</p> <p>また、子ども達に対し出前講座を実施しており、出土品に触れていただけるような機会を設けている。</p> <p>現在、八王子駅南口に整備中の「集いの拠点」には、縄文文化の出土品などに市民の皆様が触れていただけるような「歴史・郷土ミュージアム」を整備している。</p> <p>市では、農業体験ができる農家に、市から協力金を支払うことで、市民の方々が、四季折々の果物や野菜などを収穫できるよう取り組んでいる。</p> <p>農家の皆様のご協力や農地を活用して、体験の場面を広げていけるように、これからも取り組んでいきたい。</p>
4	<p>マイナンバーカードの顔写真更新は、1年位ごとの方が妥当ではないかと思う。国に提案してもいいのではないか。</p>	<p>更新を1年にというのは、趣旨としてはよく分かるが、更新の頻度が増え、市民の皆様の煩わしきにもなる。</p> <p>より適切な運用をするために、更新時期のご提案をいただいたと受け止めている。</p>

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 浅川市民センター

日時 令和6年(2024年)12月21日(土)
14時30分～16時00分

発言者 8名 参加者 18名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
5	<p>自分たち市民一人ひとりが、もう少し協力して自分たちで動けば、税金を使わなくても、もっとまちが綺麗になるのではないかと思います。市民の共同作業ということを大きな運動として盛り上げ、呼びかけをしていただきたい。 歩道橋は維持管理にお金がかかる。歩道橋がなく、平面交差で安全が確保できるようなまちを実現してほしい。</p>	<p>八王子の魅力の1つが、市民力、地域力だと思っている。「自分たちの力でまちを綺麗にしていこうじゃないか」という取組に対して、市が口を出すことがかえって邪魔になる側面もある。市民の皆様が自主的に何かをしたいということに対しては、ご相談をいただきながら、しっかり取り組んでいきたい。</p>
6	<p>高齢者の食事会について、子ども食堂と同じように補助していただきたい。</p>	<p>子ども食堂やフードバンクに対する視点を持っていたが、高齢者への食事という視点が足りなかったと思う。貴重な気づきをいただいた。</p>
7	<p>高尾に図書館を設置してほしい。 不登校児が公立小学校に転校する際、1週間程度体験できる期間がほしい。 特別支援教室の固定級に、知能が低くなくても情緒が落ち着かない子も入れるように、対応していただきたい。 高尾山学園は時間割を守らないといけないなど、環境への適応能力が低い子どもが通えない。子どもにあわせて対応ができるようにしてほしい。 八王子市の図書館で65歳以上の人も雇用してほしい。</p>	<p>図書館の需要が多いということを改めて感じた。 市内学校の対応については、いただいたお話について教育委員会にも伝える。 市では、不登校児に学校給食センターを開放し、子どもが来てくれたら出席扱いにしている。 市が求める仕事により、年齢制限が必要なものもあるが、何歳でも働くことができる仕事であれば年齢制限は行っていない。指摘があったことは受け止めさせていただく。</p>
8	<p>高齢者サロンへの補助について、飲食をともなうサロンも補助対象としてを認めていただきたい。</p>	<p>ご高齢の方がいろんな形で集い、顔が見える関係になり、日常的な会話の中で、その方々の健康状態も含めて確認ができる場というのは、有効、効果的なんだろうなという思いを持っている。 市民の皆様喜んでいただけるような制度を考えるうえで、貴重なご提言をいただいた。</p>